桑名市 大型カルバート長寿命化修繕計画 (大型カルバート個別施設計画)

令和3年12月 桑名市都市整備部土木課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1)背景

- 桑名市が管理する大型カルバートは、平成31年4月時点、1基の大型カルバートを管理している。
- これまでの施設の維持管理は、損傷が深刻な状態に陥った段階で、大規模な修繕や 施設の更新など、事後的に修繕を実施する対症療法型の手法がとられてきました。
- 従来同様の事後的な維持管理では維持管理に係る費用が膨大となり、利用者への安全性や信頼性を確保するための適切な維持管理の継続が困難となり、結果として道路サービスの低下に繋がることが予想されます。
- 平成26年度改定された道路法に法り全施設を5年毎に点検致します。

2)目的

- 安全性や信頼性を確保した道路サービスの提供を目的に、長寿命化修繕計画を策定し、従来の事後的な維持管理から予防的な修繕および計画的な更新を実施する、予防保全型へと管理手法の転換を図る。
- 長寿命化修繕計画に基づき、施設の長寿命化並びに維持管理費用の縮減を図る。

2. 長寿命化修繕計画の対象大型カルバート

1) 施設総括表

区公	施設数	経過年数別の施設数				
	旭餀剱	~5	~10	~15	~20	~25
大型カルバート	1	0	0	0	1	0

2) 施設の詳細

橋梁番号 施設名	路線番号 路線名	延長	建設年次	経過年数
70001 蛎塚益生カルバート	1151001 市道蛎塚益生線	9.2m	2003年	16年

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

○ 健全度の把握は、桑名市橋梁点検要領(案)に基づく点検を定期的に実施し、施設の損傷状況を踏まえ継続的に健全度の把握を行っていきます。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

○ 施設を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール等の実施を徹 底していきます。

4. 対象大型カルバートの長寿命化及び修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 長寿命化修繕計画の基本方針

○ 予防保全型への転換

施設の損傷が深刻な状態に陥った段階で、大規模な修繕や架替えを実施する対症療 法型の維持管理から、定期的に点検を実施して、損傷が深刻な状態に陥る前に修繕を 実施する予防保全型へと維持管理手法の転換を図ることで、施設の寿命を延ばすこと が可能となり、修繕および架替えに係る維持管理費用の縮減に努めていきます。

2) 費用縮減に向けた短期的な取り組み

○ 新技術・新材料の活用

今後、修繕等の措置の省力化や費用縮減を図るために新技術等の活用について 検討し、費用縮減に取り組みます。

なお、定期点検では高所作業者による近接目視が可能であることから、新技術を 活用した点検は実施しないものとします。

修繕工事においては設計段階から新技術等の活用を含めた比較検討を行います。

5. 対象施設の概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

1) 次回定期点検時期

○ 定期点検とは、予め一定の期間を定めて行うもので、桑名市橋梁点検要領(案)に 基づき、5年に1回の頻度で実施することを基本とします。(次回2023年度点検予定)

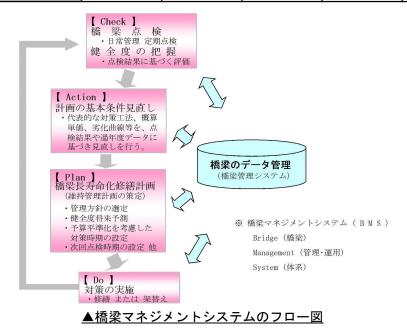
2)修繕計画(計画期間)

○ 大型カルバート長寿命化修繕計画に基づく、向こう10年間の年度別対策費は次の 通りです。

なお、本表に示す数値は修繕計画により想定したもので、事業実施に係る数値とは 異なるため、適宜見直しを行っていきます。

	令和2年度 計画	令和3年度 計画	令和4年度 計画	令和5年度 計画	令和6年度 計画
修繕対策費 (千円)	_	_	_	_	_
点検・長寿命化対策費(千円)	1	-	-	200	-
合 計 (千円)	0	0	0	200	0

	令和7年度 計画	令和8年度 計画	令和9年度 計画	令和10年度 計画	令和11年度 計画
修繕対策費 (千円)	_	_	_	-	_
点検・長寿命化対策費(千円)	-	_	-	200	-
合 計 (千円)	0	0	0	200	0



6. 老朽化の状況

1) 健全性の判定

橋梁番号 施設名	路線番号 路線名	点検年度	健全性
70001 蛎塚益生カルバート	1151001 市道蛎塚益生線	2018	I 判定

2) 修繕措置等の着手状況

次回点検(2023年)までに修繕措置等の実施予定はありません。

7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門的知識を有する者

1)計画策定担当部署

三重県 桑名市 都市整備部 土木課 tel 0594-24-1212

2) 意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

国立大学法人 岐阜大学

情報連携統括本部

村上 茂之 教授